



第6区区間賞を受賞した増子選手



第13区町の部区間賞を受賞した村上選手

<第6区区間賞 増子陽太選手>  
 楽しむことを第一に考えて出場しました。町に貢献出来たことをとても嬉しく思います。また来年の出場も楽しみです。

<第13区町の部区間賞 村上正義選手>  
 受賞できたことで、今年1年の成果を実感することができました。これからの走りにも活かしていけたらいいと思います。

晩秋の福島路を駆ける第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月19日(日)に開催され、県内59市町村53チームの選手たちが、白河市から福島県庁までの96・3km、16区間でタスキをつなぎました。鏡石町チームは総合タイム5時間29分42秒、総合では第15位、町の部は、昨年と同じく第4位と快走しました。

今大会では、小雨や強い向かい風など悪天候のなかでも、中学生や高校生といった多くのフレッシュな選手が勢いのある走りを見せ、懸命に町のタスキを繋ぎました。

第6区では、先日国体において、陸上競技少年男子3000メートル種目で優勝した、増子陽太選手(学法石川高校1年)が5人を抜いて区間賞(総合1位)を獲得する走りを見せ、その圧巻の走

**総合タイム 5時間29分42秒**  
**総合順位 第15位 町の部 第4位**

りで大きく町の順位を引き上げました。

また、第13区では、村上正義選手が町の部区間賞(総合7位)に輝く力強い走りで、後半の安定したベテラン選手たちにタスキを繋いでいき、第16区の井上寿弥選手が順位をひとつ上げ、総合順位は15位、町の部では4位という好成績でフィニッシュし、来年の更なる飛躍につながる結果となりました。

今年は、沿道で声を出す応援が可能となり、集まった多くの観客が冷たい風を受けながらも、選手たちに熱い声援を送りました。

次回大会に向けて、鏡石町チームの選手とスタッフたちの挑戦は、これからも続いていきます。

来年も、鏡石町チームの応援をよろしく願います。

名場面！笑顔のタスキリレー



区間	氏名	所属	区間順位	通過順位
1区 (4.0km)	真船琴美	鏡石中3年	32位	32位
2区 (8.2km)	長尾虹汰	学法石川高1年	23位	28位
3区 (5.8km)	圓谷伸稀	学法石川高2年	19位	26位
4区 (7.3km)	佐藤征昭	鏡石町役場	10位	20位
5区 (6.4km)	大波淳宏	仙台市小学校教諭	12位	19位
6区 (8.3km)	増子陽太	学法石川高1年	1位	14位
7区 (5.4km)	森尾将弘	鏡石中3年	29位	14位
8区 (4.1km)	浅倉瑛太	鏡石中3年	15位	14位
9区 (3.0km)	飛澤胡来実	鏡石中3年	27位	16位
10区 (10.6km)	石井智大	かがみいしSC	12位	13位
11区 (3.9km)	古川楓夏	郡山女子大附属高1年	36位	15位
12区 (7.0km)	佐原尚樹	自衛隊郡山	22位	16位
13区 (4.8km)	村上正義	日大東北高1年	7位	16位
14区 (5.7km)	今泉宏	自衛隊郡山	21位	16位
15区 (3.4km)	角田美智子	カワチ薬品	10位	16位
16区 (8.4km)	井上寿弥	自衛隊朝霞	18位	15位